

(1) 活動内容

6年 「英語で時刻を言ってみよう」(Hi, friends! 2 Lesson 6) (1 / 4)

世界の時差に触れることで、世界の人々の暮らしに興味をもたせ、英語で自分のことを話したい、相手のことを知りたいという思いをもたせるようにしていく。

時刻の表現を段階的に学習し、チャンツやゲームの時間を取り入れ、新しい表現を何度も繰り返してから、交流する場面を設けた。

本時の目標 世界の様子クイズから、世界の人々の様子から時差があることに気づき、時刻を表す英語表現に慣れ親しむことができる。

(1) 導入

- ・あいさつをする。
- ・世界の時差や人々の生活の違いに気付く。
- ・単元の流れをつかみ、本時のめあてを確認する。



(2) 活動

- ・ナンバーゲームを行う。
○Let's number game.
- ・英語で時刻の言い方を知る。
○ Please after me.
・「It's eight ten.」
- ・カルタゲームを行う。
○Let's karuta game.
① teacher: 「ten fifty-five」
student: 「ten fifty-five」
② student A : 「six thirty」
student B・C・D : 「six thirty」
③ teacher: 「It's two twenty.」
student: 「It's two twenty.」



- ・本時の振り返りをする。

(3) 成果・課題

フラッシュカードやチャンツ、ゲームを利用して、新しい表現を何度も繰り返したり、デモンストレーションを行って表現を確認したりし、子供たちが外国語を聞いたり話したりする場面を多く設けることにより、積極的にコミュニケーションを図ることができた。これからもこのような活動を継続的に行うことにより、より積極的にコミュニケーションを図ることができるようにしていきたい。

